

すし詰め 児童クラブ 解消へ



札幌市議会
第4回定例会

小形かおり市議が提案



代表質問する小形議員

小形かおり札幌市議は、昨年12月5日、第4回定例会で代表質問に立ちました。

児童クラブの 8割が過大規模

放課後の子どもたちの居場所となる児童クラブは、円山、緑が丘、桑園など、約8割の児童会館で登録児童数が100名を超える過大規模です。

解消検討する

「子どもたちに指導員の目が行き届くのか」、伏見小学校区では、親たちが民間学童保育所を開設し、自主的に運営しています。ところが、児童クラブがある場合、後から

市民の切実な願い

200項目市長に予算要望

共産党市議団は昨年12月20日、上田文雄市長に2014年度予算への要望書を提出しました。「国保料の1世帯1万円引き下げ」「保育所の待機児童ゼロ」など、市民の切実な要望の実現を訴えました。



(右から) 宮川・伊藤・井上
小形の各市議

公共料金への安易な消費税転嫁、すべきでない

作った民間児童クラブには助成金をださないというのが市の方針でした。この考えを改めよ、という小形議員の追及に、市は「検討する必要がある」と答えました。

秘密保護法許すな！ 撤廃の世論広げて

秘密保護法が強行された前日の12月5日、市民とともに反対集会に参加しました。

言論を抑圧し、日本を「アメリカとともに戦争する国」につくり変える秘密保護法は撤廃しかありません。



デモ行進する(左から)伊藤、小形、宮川、井上の各議員

日本共産党 札幌市議団



2014年1・2月号外

発行/日本共産党札幌市議会議員団事務局
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内
TEL011-211-3221 FAX011-218-5124
HP: <http://www.jcp-sapporo.jp/>

日本共産党札幌市議団の活動と見解を紹介します。